

輸入切花専門商社の **クラシック** が『Platio』^{プラティオ} を採用
通信圏外でも報告・状況確認が可能「冷蔵倉庫状況確認アプリ」を1日で作成
倉庫スペース占有率が50%を超えるとプッシュ通知で警告！3,000㎡の倉庫利用を最適化

アステリア株式会社（本社:東京都品川区、代表取締役社長:平野洋一郎、証券コード:3853、以下アステリア）は、モバイルアプリ作成ツール「Platio（プラティオ）」を輸入切花専門商社の株式会社クラシック（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：西尾紀央、以下クラシック）が採用したことを発表します。

クラシックはPlatioを導入し、ノーコードで独自の「冷蔵倉庫状況確認アプリ」を1日で作成。千葉県成田市内の業界最大規模、約3,000㎡の冷蔵倉庫の運営効率化を実現しました。倉庫内の倉庫占有状況が50%を超えると社員に自動的にプッシュ通知が配信され、事前に発注や倉庫への入庫を調整することが可能となります。

- <クラシックが「Platio」を採用したポイント>**
- ・ 専門知識がなくてもノーコードで、カスタマイズ自在な自社アプリの作成が可能
 - ・ 冷蔵倉庫内の通信圏外環境下でも、各倉庫の時間軸や倉庫別での状況確認・報告が可能
 ※通信圏外時の入力情報は通信接続時に自動アップロードされるPlatioの独自機能
 - ・ 冷蔵庫内の在庫（スペース）占有率が50%を超過すると社員にプッシュ通知が自動配信

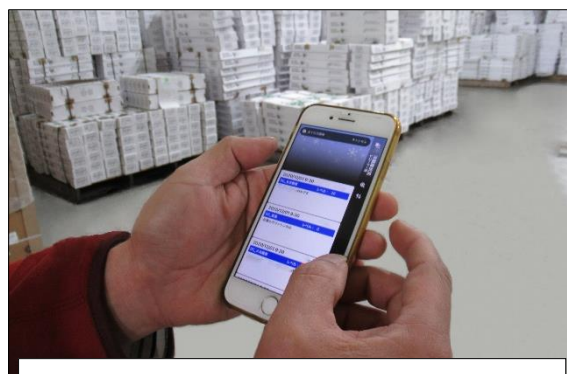
■クラシックが作成した「冷蔵倉庫状況管理アプリ」画面イメージと作業手順

冷蔵倉庫の占有率や在庫状況は 動画や写真で報告（共有）	占有率が高くなると 担当社員にプッシュ通知で警告	倉庫ごとのスペース占有率と 在庫状況をワンストップで見える化
		

■クラシックが「Platio」を導入した背景

輸入切花のパイオニアであるクラシックは、成田空港付近に存在する業界最大規模の約 3,000 m² の敷地に冷蔵倉庫を有し、最適な環境で保存された質の高い切花商品を提供しています。

クラシックでは従来、冷蔵倉庫の効率的な利用のためにチャットツールを使用し、格納状況や占有率などの情報を共有していました。しかし、チャットツールでの情報共有は時間の経過で情報が埋もれてしまう、確認したい情報にたどり着くに時間を要する、冷蔵倉庫内は圏外のためリアルタイムな報告が困難等の課題がありました。



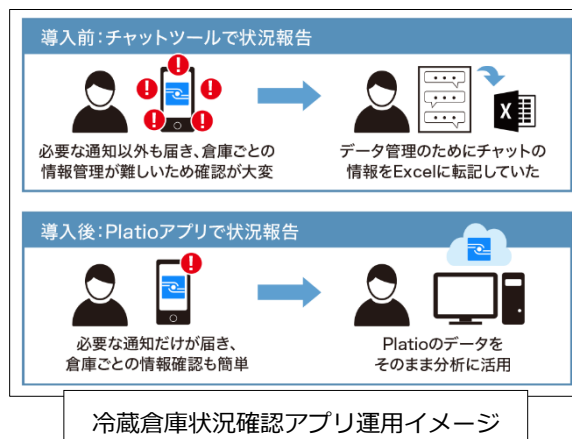
倉庫の在庫占有状況を Platio で確認する様子

そこで、新型コロナウイルスの感染対策として社員の健康管理のために導入を検討していた「Platio」を活用し、1日で「冷蔵倉庫状況確認アプリ」を作成しました。

冷蔵倉庫状況確認アプリは、7つに分かれた各倉庫内の在庫占有状況が 50%を超えると社員に自動的にプッシュ通知が配信されるなど、情報の重要度を直感的に把握することが可能です。倉庫の状況を報告する時には、倉庫内の様子や在庫を撮影した動画や写真を添付し現場の様子を的確に共有。これにより、発注や倉庫への入庫作業を倉庫内の状況に応じて調整することができるようになりました。

また、通信圏外での入力情報が、次回通信接続時に自動アップロードされる Platio 独自の機能を活用することで、通信環境に左右されることなく、倉庫内の在庫占有状況の報告や確認ができるようになりました。

この結果、冷蔵倉庫の限られたスペースの利用状況を全社員がリアルタイムに確認することが可能となりました。また、蓄積された倉庫の稼働状況報告データをもとに、商品の仕入れや在庫管理に関する物流計画を立案するなど、物流テックを促進することで事業の成長に貢献しています。



■ ユーザーのコメント

コロナ禍における社員の健康管理のため、検温報告アプリを探していたのをきっかけに Platio を知りました。

今回作成した「冷蔵庫状況確認アプリ」では、報告する側の作業が軽減でき、受け取る側も必要な情報に早くたどり着くことが可能になり作成して非常に良かったと感じます。

また、冷蔵庫の占有率データを蓄積することで長期的なデータ分析ができるようになったので、今後はそのデータをもとに、自社施設のキャパシティにフィットした入出荷タイミングの精度を更に向上させる等、より戦略的なロジスティクス業務の運用改善に役立てたいと考えています。こうした取り組みで、お客様が望まれる商品を安定してご提供できる体制をより強化できるものと確信しています。

CLASSIC JAPAN Ltd.

株式会社クラシック 経営企画本部 管理グループ 田中 賢哉 氏

■『Platio』の今後の展開

Platio はノーコード、かつ短期間でアプリの作成が可能なことから、幅広い業種の企業・団体に利用されています。2020年6月にはスマートフォンの半数以上の市場シェアを占める Android 版のリリースにより Platio の利用環境が2倍以上に拡大されるとともに、iOS 利用者以外でも現場業務のアプリ化による業務プロセスの省力化や効率化を支援できるようになりました。

2022年度には Platio の導入件数 500 件を目指します。

■「株式会社クラシック」について（Web サイト <https://www.classicjapan.co.jp/>）

1977年の創業以来、輸入切花のパイオニア。成田空港付近に拠点をもち、商品を適切な温度で保存するための冷蔵倉庫が約 3,000 m²と、業界でも他に類を見ないレベルの施設を有しています。

■ Platio について（Web サイト <https://plat.io>）

Platio（プラティオ）は、誰でも簡単に自社の業務にフィットするモバイルアプリをノーコードで作成し、活用できるクラウドサービスです。誰もが自社の業務に合った最適なアプリを活用することで、ビジネスの現場における IT 化を推進し、人手に頼っていた業務プロセスを効率化します。Platio で作成したアプリは、すぐに配信して現場で使い始められます。現場担当者がアプリから入力したデータはクラウド上に保管、管理者へリアルタイムに共有され、タイムリーに現場の状況を把握できます。また、入力データの変化を自動で検知し、管理者へ通知する検知機能により、異常にいち早く対応できます。複雑かつ高価格になりがちな業務用アプリを、手軽に作れるソリューションであることが評価され「2018年度 グッドデザイン賞」を受賞しています。

■「アステリア株式会社」について（Web サイト <https://www.asteria.com/>）

アステリア株式会社（2018年10月にインフォテリアから社名変更）は、企業内の多種多様なコンピューターやデバイスの間を接続するソフトウェアやサービスを開発・販売しています。主力製品の ASTERIA Warp は、異なるコンピューターシステムのデータをノーコードで連携できるソフトウェアで、大企業、中堅企業を中心に 8,824 社（2020年9月末現在）の企業に導入されています。また、Handbook は、営業資料や商品カタログ、会議資料などあらゆる電子ファイルをスマートフォンやタブレットで持ち運べるサービスのスタンダードとして、1,589 件（2020年9月末現在）の企業や公共機関で採用されています。

<事例掲載 URL>

<https://plat.io/ja/case/classic>

【プレスリリースに関するお問い合わせ先（報道機関窓口）】

アステリア株式会社 広報・IR 部：長沼史宏・齋藤ひとみ

TEL:03-5718-1297 / 携帯電話:080-7834-0841（長沼） / E-mail: press@asteria.com

【製品に関するお問い合わせ先】

アステリア株式会社 ネットサービス本部

TEL:03-5718-1660 / E-mail: platio-sales@asteria.com

アステリア、ASTERIA、Handbook、Platio はアステリア株式会社の登録商標です。
本文中の商品名は、各社の商標または登録商標です。